

滋賀

大津支局

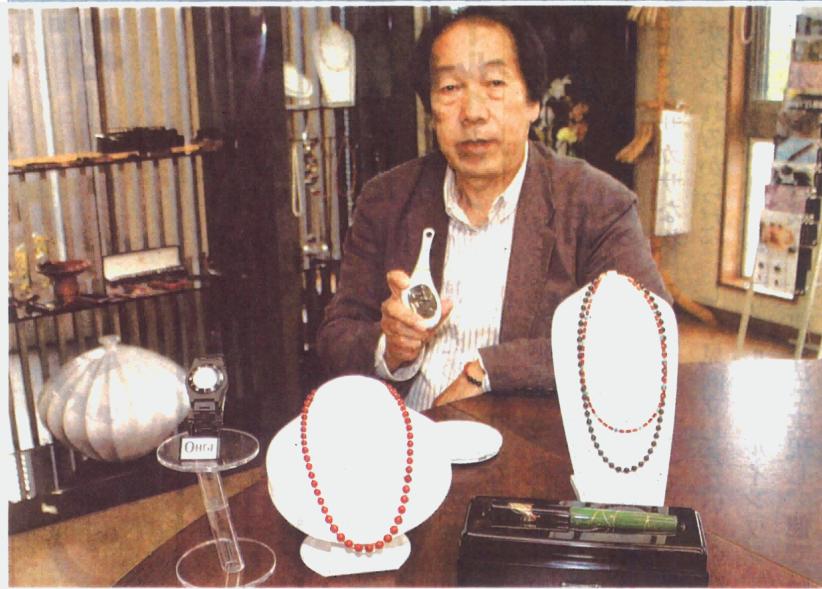
〒520-0806 大津市打出浜3の16
TEL 077(524)6655 FAX 077(526)1504
ootu@mainichi.co.jp

【通信機関】

彦根0749(22)1245 近江八幡0748(33)2412
長浜0749(62)0813 高島0740(22)2172
甲賀0748(77)0260 草津077(562)6131
【販売店問い合わせ】 077(525)6187
【広告問い合わせ】 077(522)2603

星の占い
マーク矢崎
30日

- ★牡羊座(3・21~4・1)
変わりあり。相手にしがみついています。
- ★牡牛座(4・20~5・2)
幸運あり。何かのグループで一緒にいる。
- ★双子座(5・21~6・2)
れ違いあり。家族や友達と一緒にいます。
- ★蟹座(6・22~7・2)
没頭して吉。記録に挑戦しています。



「炭素」に着目し、複数の大学と共同研究を続けながら新製品開発・製造に取り組む大木工芸(大津市)。エコカーなどの分野で開発が進む燃料電池向けの活性炭製造や節電シートを開発し、取得した特許は40件以上。アイデアマンの大木武彦社長(71)は「二三ヶ所(隙間)分野を狙う。開発はスピードが大事で、止まつたらアウト」と意気込んだ。

【佐竹義造】



2

リット炭化工場を構え、ナノ(1ナノは1億分の1)レベルの小さな孔を大量に含む多孔質活性炭を生産。現在、月100~300tを生産。ペットボトルの材料であるポリエチレンテレフタレート(PET)を原料とし、高熱と電子レンジなどに利用されるマイクロ波を使つ

てこの技術を応用し、建物の壁面や路面など屋外でも自由に絵柄を転写する技術を94年ごろに開発。「常温転写トランスアート」と名づけた。



たハイブリッドの炭化炉を使つことで、表面積が1m²当たり3600平方㍍の活性炭を作ることが可能になった。

大木社長は「燃料電池用の活性炭で、製造工程には特許がない。将来、燃料電池車が普及すれば、需要拡大が見込まれる」と期待する。

また、「カーボンウェーブ・節電シート」を龍谷大と共同で開発。1600度以上の高温で焼成した高密度炭を、0.13mmの薄さまで圧延したシートと防炎紙を張り合わせて壁クロスやブラインドにすることで、防火や空調の消費電力を抑える効果があるという。今後、地場の工務店や建材関係業者に販路を開拓する。

大木社長は1970年の創業当初、合成樹脂を加工した工芸品などを製作、百貨店などに納めていた。しかし、作業中の粉じんで体

付け、ホテルや寺院の壁面、駐車場の路面や路上の変圧器、マンホールなどに絵画を転写して話題になった。

共同研究で特許は40件以上

めのコーティング用に使われる樹脂が、転写後に余った樹脂はゴミになる。自社の敷地内で燃やすと大

アイデアで炭素七変化

同社は香川県さぬき市にハイブリット炭化工場を構え、ナノ(1ナノは1億分の1)レベルの小さな孔を大量に含む多孔質活性炭を生産。現在、月100~300tを生産。ペットボトルの材料であるポリエチレンテレフタレート(PET)を原料とし、高熱と電子レンジなどに利用されるマイクロ波を使つ

てこの技術を応用し、建物の壁面や路面など屋外でも自由に絵柄を転写する技術を94年ごろに開発。「常温転写トランスアート」と名づけた。

この転写トランスアート事業で課題だったのが、アクリル樹脂の転写だった。表面の摩耗を防ぐた

めのコーティング用に使われる樹脂が、転写後に余った樹脂はゴミになる。自社の敷地内で燃やすと大



株式会社大木工芸

本社・大津市中野3の4の13。1970年4月に設立。資本金は6000万円。炭素研究開発製造業で売上高は3億5000万円。社員は17人。

同社が炭素素材を生かして企画・開発した製品は数多く、ネックレスや万年筆、時計バンド、炊飯器や鍋・釜などの調理器具、あぶらとり紙など多岐にわたる。

大木社長は、仕事のスタンスについて「挑戦もせず、すぐにあきらめてはいけない。思いついたら即行動に移すこと。最終的に採算が取れない事業ははないが、それは最後に判断すること」と強調する。

今年12月の発表を目指す新製品トワークだ。現在は龍谷大のR&Dセンター(瀬田キャンパス)に研究室があり、滋賀医科大学や京都工芸織維大、関西大などと共に研究・製品開発に取り組んでいる。同社の強みは、大学とのネットワークだ。現在は龍谷大のR&Dセンター(瀬田キャンパス)に研究室があり、滋賀医科大学や京都工芸織維大、関西大などと共に研究・製品開発に取り組んでいる。

活性炭の研究は17年前から続いている。物作りには最低5年かかるので、常に新しいアイデアが必要。大手が参入しないような新商品を開発し、永続する企業にしたい」と大木社長。目標は「4年後に創業50年。それまでに売上高を50億円にしたい」と意気込んでいる。

|| 次回は6月20日